

第四十一回

雲州そろばん珠算競技大会

そろばんや暗算の計算の速さと正確さを競う「第四十一回雲州そろばん珠算競技大会」が八月一日、横田中学校体育館で開催されました。

大会には、西日本各地の二十二のそろばん塾から百九十一人が参加し、一般・高校から小学校四年生以下の各クラスに分かれて、日頃の成果を競いました。

大会は、兵庫県の播州算盤

と並ぶ日本の二大産地である雲州算盤のPRと珠算技術の向上を目的に、雲州算盤協同組合と商工会が毎年開催しています。

参加者は、暑さと熱気の中「始め」の合図とともに一斉にそろばんをはじき、読み上げ算や暗算などの競技に真剣な表情で取り組んでいました。



▲真剣な表情でそろばんをはじく参加者

郷土に伝わる知恵と技術を学ぶ たたら操業体験



▲鋤(ケラ)出しが終わり、みんなで記念写真

たくさん友達できたよ

吾妻山のびのびキャンプ

八月七日から十日まで、吾妻山大膳原キャンプ場(標高一、〇二〇^{メートル})で、三泊四日の「吾妻山のびのびキャンプ」が開催され、町内をはじめ雲南市、飯南町の小学校四年生から六年生までの児童三十八人が夏山の自然体験を楽しみました。

参加した十校の児童が、混成で班ごとに分かれ、協力して食事づくりや自然観察、登

山、キャンプファイヤー、ロープワークなど様々なキャンプ活動を行いました。

四日間のキャンプを終え、日頃体験できない生活を経験し、ひとまわりたくましくな

って元気よく下山することができました。

また、新しくできた友達と別れ際に握手するなど交友を深めていました。



▲みんなでロープワークに挑戦

横田中学校の生徒二十七人が、七月三十日から二日間、大呂の島上木炭銃工場「日刀保たたら」で「たたら体験学習」を行い、先人の知恵と技術、自分たちの郷土について学びました。

砂鉄や木炭を投入し、懸命に作業に取り組み、先人の鉄づくりの苦労を体験しました。今年、二基の炉で木炭百七十六^{キログラム}と砂鉄九十七^{キログラム}が投入され、日本刀の材料となる玉鋼を含む約四十六・六^{キログラム}の鋸ができました。

赤々としたケラが取り出され、参加した生徒からは「たたら製鉄は奥出雲町の誇り。これからも伝統を守り続けてほしい」、「貴重な体験ができ、一生の思い出になった」など流れる汗をぬぐいながら感動の表情を浮かべていました。

暑さの中、元気いっぱいプレー 第25回 中国小学生ホッケー交流大会



▲懸命に白球を追いかける選手たち

からも、多くの保護者やチームメイトの盛んな声援が送られていました。

成績

第二十五回中国小学生ホッケー交流大会が七月十九、二十日の両日、三成公園ホッケー場で開催されました。

この大会は、昭和五十七年の「くにびき国体」開催を記念して、ホッケー競技の底辺拡大と児童に交流の機会を与えることを目的に、島根県ホッケー協会が毎年開催しています。

今年も中国地方から男女合わせて、四十二チーム、約三百五十人の児童が参加して熱戦を繰り広げました。

試合はリンク方式で行われ、一部、二部に分かれて四つのコートで予選を行い、決勝トーナメント進出を目指しました。

また、昨年度整備が行なわれた、約四百人収容の観覧席

優勝	【男子一部】	馬木小ホッケースポーツ少年団
準優勝	八川ホッケースポーツ少年団	
優勝	【男子二部】	みなりホッケースポーツ少年団
準優勝	八川ファイターズ	
優勝	【女子一部】	横小キャラメルリボン
準優勝	馬木小ホッケースポーツ少年団	
優勝	【女子二部】	横小ハッピー∞エイ
準優勝	Orange Devil 岡山	

地元企業の魅力を肌で 横田高校生が企業訪問



▲仁多産業の社員から生産施設や製造商品について説明を受ける高校生

七月九日、十日の二日間、来春卒業予定の横田高校生七十人が、町内の事業所(十二社)を訪れ、地元企業への関心や幅広い知識を深めました。

二日目に訪れた(株)仁多産業では、縫製後のジーンズに「レーザ加工」などの独創的な技術を施し、高付加価値ジーンズとして、海外でも商品展開されています。

生徒たちは、製造工程や加工方法などの説明を受け、メモを取りながら、熱心に耳を傾けていました。

川西一夫代表取締役からは「これからは常識にとらわれない感性と語学力が必要。片言でもよいので人前で勇気を持って話すことが大切」と生徒たちにエールを送りました。

生徒からは「地元を海外で活躍する企業があることを知り誇りに思う」、「将来は奥出雲町に帰って働きたい」、「母校の先輩方が一生懸命働く姿を見て良かった」など、進路決定を間近に控えた生徒たちにとって、有意義な二日間となりました。

全国一斉「こどもの人権110番」電話相談

子どもをめぐる様々な人権問題に積極的に取り組むことを目的として、法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会では、9月8日(月)から9月14日(日)までの7日間を、全国一斉強化週間として電話相談を行います。

学校内でのいじめや体罰、児童虐待など、学校生活や日常生活での悩みがありましたらお気軽にお電話ください。子どもの人権専門委員が中心になって相談に応じます。相談は無料で秘密は厳守されます。

【期間】平成20年9月8日(月)～9月14日(日)
【時間】午前8時30分～午後7時 ただし、13日(土)・14日(日)は 午前10時～午後5時
【電話番号】0120-007-110(フリーダイヤル)
【主催】松江地方法務局・島根県人権擁護委員連合会
【お問合せ】役場町民課 仁多庁舎 有線30-5102 電話54-2510 横田庁舎 有線20-4101 電話52-2674